

日中友好のしんぶん

日本と中国

東京版

ボランティア宅本便
 皆さまのご自宅に眠っている本・CD・DVD・ゲームなどはありませんか？
 東京都日中友好協会はブックオフオンライン株式会社のご協力で「本で日中友好促進！」事業を行っています。詳細は→
<http://www.jcfa-tyo.net/iin/zaisei/takuhon/>

リニューアル第7号(平成29年3月1日発行)付録
 発行:認定NPO法人東京都日本中国友好協会
 所在地:〒101-0054
 東京都千代田区神田錦町1-4 日中友好会館
 ☎ 03-3295-8241 ㊚ 03-3295-8255
 ホームページ: <http://www.jcfa-tyo.net>
 E-mail: to-nicchu@jcfa-tyo.net
 編集・発行:広報委員会 編集人:森山光伸

速報！第3回通常総会日時決定！
6.10(土) 四ツ谷主婦会館プラザエフ
 詳細は5月号で

初の『東京都日中友好議員代表訪中団』 北京・上海へ



東京都日中友好議員代表訪中団(北京・鳥の巣前にて)

友利春久東京都議会日中友好議員連盟会長を団長とする東京都日中友好議員代表訪中団(一行26名(都議4名、特別区議員8区20名(随行者2名))は、中国大使館の招請により、12月18日から12月21日にかけて中国を訪問した(北京・上海)。

北京滞在中に北京オリンピック関連施設「鳥の巣」、「水立方」を視察し、中華全国青年連合会(国際部)と中国外交部(アジア局)を表敬訪問した。

故宮デジタル研究所で「VRシアター」見学体験後、中日友好協会主催の「中日友好交流会」に臨んだ。中日友好協会の歓迎挨拶並びに司会進行により、東京都及び特別区の友好都市(区)である北京市、豊台区、石景山区、東城区、昌平区、朝陽区、西城区等の幹部が一堂に会し、日本側の各友好都・区の議員と日中友好交流事業の実施状況と成果について総括を行うとともに熱心かつ突っ込んだ意見の交換がなされ

た。これによって、両国の首都同士、東京・北京と各区相互間の「相互理解」と「友情」は一段と深められた。

そして2017年の日中国交正常化45周年祝賀記念の両都市で行われる諸事業の成功に向け相互に尽力していくこととなった。

夜は、中日友好協会主催の歓迎会に招待され、昼間、意見を交わした同士がさらに懇談を続け、相互の信頼関係をより一層深められた。

このような中日友好協会の皆様の行き届いたおもてなしを受け、冬の北京の夜は、心温まる和やかな日中友好の祝宴となった。

上海では、上海虹橋空港到着後、出迎える上海市人民対外友好協会の案内で南京路商店街等を視察。夜は、上海市人民対外友好協会主催(景瑩副会長)の歓迎会に招かれて友好協会の幹部との意見交換等懇談を行った。翌日は上海博物館を見学し、上海浦東空港から成田へ無事帰国した。(栗山)

中国語集中講座 中国語春期ワンデーレッスン 2017 春期 参加者募集！

★日 時:2017年3月5日(日) 基礎クラス:14時～16時 初級・中級クラス:10時～16時30分

★会場:大田区民センター

★開講クラス:①基礎クラス【中国人に気持ちを伝えよう！】

②初級会話クラス【漢字の基本である「一字一音」をしっかり学ぼう】

③中級クラス【中国の食文化にまつわる裏話を取り上げ、文法や語彙力の向上を図ります！】

★受講料:基礎クラス:2500円(一般) 初級・中級クラス:4500円(一般)

※会員(地区協会を含む)・協会主催中国語教室受講生(地区協会を含む)は500円割引

参加ご希望の方は、ご氏名・生年月日(例:20代・30代でも可)・性別・職業・住所・電話番号・受講クラス・所属(会員・教室受講生・一般)を明記の上、下記までお申し込みください。

★主催:認定NPO法人東京都日中友好協会 ☎:03-3295-8241 e-mail: to-nicchu@jcfa-tyo.net

東京都日中友好議員代表訪中団 新春座談会を開催



東京都日中友好議員代表訪中団 新春座談会

2月16日、中国大使館内会議室で第1回東京都日中友好議員代表訪中団の新春座談会があった。参加者は都議会から5名、特別区から8区13名、協会からは宇都宮会長等4名が出席した。

汪婉友好交流部参事官の司会進行により冒頭、程永華大使の挨拶があり、「昨年習・安倍両首脳会談の結果を受けて、日中友好関係の大局・枠組みに従い、両国民の正しい相互認識のもと積極的に相互交

流を進め、将来への友好親善に繋げていきたい。そのため要望等があれば大使館に是非寄せてほしい。」旨の発言があった。

訪中団からは友利団長から訪中団の招請、新春座談会の開催についてお礼の言葉が述べられ、「今後、日中友好議員連盟所属の議員として、東京のすべての市区町村に超党派の日中友好議員連盟を作っていく努力を重ね、そしてこの運動を全国に波及していきたい。」旨の発言があった。

戸枝副団長から訪中団の「報告」があり、中日友好協会主催の「中日友好交流会」での北京市人民対外友好協会、豊台区、石景山区、東城区、昌平区、朝陽区、西城区等との日中友好交流の現状と課題について討論した模様を言及して、「相互認識」、「友情」と「信頼感」がより深まったことを報告した。また、友利団長の話を受けて、東京日中友好議員連盟協議会結成趣意書、規約、設立総会開催の御案内について配布し、熱い支援と参加を要請した。上海では、上海市人民対外友好協会との懇談の模様も報告された。

その後、座談会出席者による自由発言に移り、活発な意見交流会となった。最後に、宇都宮会長のお礼の言葉、薛劍公使参事官の閉会の挨拶があり新春座談会は盛会裡に幕を閉じた。(栗山)

北京のスポーツアナウンサー、青梅路を完走！



30kmゴール直前の宋選手(黒ユニフォーム)

北京市対友協は2年ぶりに第51回青梅マラソン大会に「北京市青梅マラソン訪日団」を派遣。2月17日到着の夜に「プリジストン奥多摩園」で池田央副市長も出席して、青梅市日中友好協会交流会が開かれた。

山下会長の歓迎の言葉に対し、団長の呂奕 北京市婦女連合会弁公室主任が「日中国交回復45周年の記念すべき年に伝統の青梅マラソンに参加でき、益々の市民交流をしていきたい」と挨拶。参加する北京人民広播電台アナウンサーの選手もファイト全面に挨拶すると会場から拍手喝采になった。

19日当日は木下青梅市日中友好協会事務局長らの見守る中を選手たちは「景色のいい中、レベルの高い老若男女の日本選手に交じって楽しく走れた」と快走。暫定タイムは張婧琳選手が10km(女子)1時間10分、宋揚選手は30km(男子)2時間44分でそれぞれ個人の新記録で完走した。

翌20日は午前中に林事務局主任の案内でスカイツリー、浅草仲見世を散策後、吾妻橋のいけす道楽で宇都宮会長始め都日中役員等20数人が歓迎する昼食会にて随行の李維建科長が「来年はもっと練習してお会いしましょう」と挨拶して友好を深めた。(松尾)



張選手完走メダル獲得、横断幕で迎える代表团

日中友好皇居マラソン大会ご案内

(日中国交正常化45周年記念 3.11東日本大震災6周年チャリティー)

- ◆日 時: 2017年3月11日(土)09:30 集合
1周の部: 10時スタート: 女性・シニア(60歳以上)・ちびっこ(10歳以下)50名
2周の部: 11時スタート: 一般50名
 - ◆集 合: 皇居桜田門内時計台下
 - ◆参 加 費: 2000円(学生、ちびっこ1000円)当日徴収
優勝〜トロフィー、参加賞: 完走記録証、バッジ
 - ◆表彰式昼食会: 12時半より日比谷公園内・日比谷パークセンターにて
 - ◆主 催: 認定NPO法人東京都日中友好協会 後援: 中国大使館 北京カモシカ会 協賛: 大塚製薬、日和商事
 - ◆問 合 せ 等: 認定NPO法人東京都日中友好協会
TEL03-3295-8241 FAX03-3295-8255 E-mail: to-nicchu@jcfa-tyo.net
- また、当日は大会後、12時30分より「孫文と梅屋庄吉」と題した講演会を開催します(@日比谷パークセンタ

中国大使館杯—第19回東京都日中友好囲碁交流大会を開催—



囲碁交流大会

第19回東京都日中友好囲碁交流大会が11月19日(土)日本棋院で開催された。本大会は、中国大使館の全面的なご支援ご協力のもと、囲碁を通じて日中の友好交流を広めていくことを目的とし、今回で19回目を迎えた。

大会は東京近郊に在住する日中の愛棋家60名による3回戦の対抗戦で行われた。

第一部、主催者側を代表して東京都日中友好協会齋藤成文化交流委員長による「囲碁を通じて友好交流を深め楽しい一日を過ごして欲しい」との挨拶、中国大使館の王連鋒一等書記官、李青海大会顧問(中国囲碁協会棋士七段)、翁子瑜審判長(中国囲碁協会棋士六段)が紹介

された。続いて、木谷正道氏(昭和の囲碁界を支えた木谷實九段の三男)の紹介で、全盲の愛棋家の柿島光晴(アマ四段)と汪徳慧(アマ二段)のエキジビションマッチも併せて行われ、参加者の喝采を浴びていた。

その後、翁子瑜審判長(中国囲碁協会棋士六段)の対局開始の発声とともに対局は和やかに始まった。一昨年は日本チーム、昨年は、中国チームの優勝となっており、今年の結果が双方にとって関心事になっていた。若者の多い中国チームとベテランの多い日本チームで真剣勝負が繰り広げられた。戦いの流れは、前半の中国チームの勢いをベテランの日本チームが食い止め接戦となったが、前半の優位をそのまま維持した中国チームの優勝となった。会場内では、あちこちで互いの健闘を称え合う姿が見られ、選手同士の交流が深まった。大会を通し、日中両選手同士のすばらしいマナーにより気持ちのよい対局が行われた。

第二部、懇親会(司会:中野修常務副会長)の参加者は70名を超えた。主催者側を代表して須藤誠理事長が「囲碁を通じた民間交流によって両国の友好を深めよう。」と挨拶した。また、中国大使館邵宏偉一等書記官より「中国の唐の時代に囲碁が日本に伝わった。この伝統ある囲碁を通じ、友好交流を進めよう。」と挨拶をいただき、引き続きで日中交流特命棋士の孔令文日本棋院七段(中国囲碁界代表棋士聶衛平九段のご子息)より「囲碁は、手談と言われ言葉が通じなくても相互に理解できるすばらしいゲーム」と挨拶があった。

乾杯は、李青海大会顧問(中国囲碁協会棋士七段)が行い、にぎやかな懇親会が始まった。

その後、明立周二大会実行委員長より40対35で中国側の勝利の成績発表が行われ、中国大使館邵宏偉一等書記官より中国チーム王耀弘主将に大使館杯が授与された。引き続き中国側6名、日本側6名の全勝者に対し、須藤誠理事長から賞品が渡された。日中の選手が互いに健闘を称え、酒を酌み交わす懇親会は、最後までにぎやかであった。

講演 「久間初防衛大臣が語る！今だから言える外交の現場」 & パネルディスカッション

- ◎日 時: 2017年4月22日(土) 15時半開場 16時開演~18:30終了予定
16:00~講演 初代防衛大臣 久間章生氏 / 17:00~パネルディスカッション
- ◎場 所: 池袋: アットビジネスセンター池袋駅前別館 606号室
- ◎参加費: お一人 1,000円
- ◎申込方法: 「下記URL」により、氏名、メールアドレス、電話番号をご記入の上、ご登録ください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S31878604/> (参加申込みフォームです)
- ◎主 催: 認定NPO法人東京都日中友好協会青年委員会

講演会 「孫文と梅屋庄吉」開催ご案内 (昼食付@日比谷パークセンター)

- ◇日 時: 2017年3月11日(土) 12:30~14:30
*当日午前中、皇居マラソン終了後、講演会を引き続き開催します。
- ◇会 場: 日比谷パークセンター 千代田区日比谷公園 1-1 ☎03-3593-1130
(地下鉄 日比谷駅 出口A14 日比谷花壇の隣)
- ◇会 費: 3,000円(昼食代込)
- ◇参加人数: 50名
- ◇講 師: 小坂文乃氏: 日比谷 松本楼副社長 梅屋庄吉氏の曾孫
- ◇主 催: 認定NPO法人東京都日本中国友好協会 後援: 中国大使館
- ◇問合せ等: 認定NPO法人東京都日中友好協会
TEL: 03-3295-8241 / FAX: 03-3295-8255 / E-mail: to-nicchu@jcfa-tyo.net



「日中友好新春かるた会」開催 中国語普及委員会



新春かるた会の様子

2月12日、中国語普及委員会主催の「新春かるた会」が開催された。宇都宮会長にも参加いただき、大会参加者は、1回戦、2回戦それぞれ24名。見学者も含め42名と昨年よりも少なかったが、笑い声あり、拍手ありの和やかな雰囲気での大会だった。

中国語を母語とする人の1位は、中学生の趙可馨さん(33枚)、2位は同じく中学生の李振国さん(32枚)。2部の交流会で判明したが中学校での練習の段階で2人はライバルだったとのこと。練習の成果が出た。

日本語を母語とする人の1位は、船山むつみさん(33枚)、2位は小出和夫さん(18枚)。お二人はこの大会の常連で、交流会では大会の歴史を語っていただいた。

漢詩・詩吟朗読の部では、7組11名の方が参加、大会を盛り上げていただいた。

2部の交流会は、大会の日本語の読み上げをくださったフリーアナウンサーの仁木恭子さんの司会で始まり、お菓子やジュースでの歓談や皆さんに感想を伺った。最後に大会の中国語の読み上げをくださった金佩華先生から「雑詩」という唐詩の説明を伺い、みな全員で朗

2017年度前期中国語教室(渋谷区日中共催) 開講のお知らせ

当協会ならではの低料金制と一流の講師陣による中国語講座。しかも欠席した分の授業はほかのクラスに振替受講可能。無料見学随時受付中！ぜひ受講してみてください。なお、最少催行人数未満の場合は開講できない場合がありますのでご了承ください。

◆初級クラス(期間2017年4月3日～2018年3月19日/全40回/毎週月曜日18:45～20:15)

ピンインができる方を対象に例文を使いながら“会話を使いこなす”ことを重点的に学習します。中国語を勉強して1年から3年位までの方にお勧めのクラス。

※講師：島村泰子(中国語を教えて30年近く、数多くの経験から日本人と中国人の発音の違い、日本人の陥りやすい間違いなどを的確に教授。社会人への教授法には定評がある。)

◆中級クラス(期間2017年4月4日～2018年3月6日/全40回/毎週火曜日18:30～20:00)

会話力を強化！中国語の基本を既にマスターした方を対象にしています。中国語を聞いて簡単な受け答えができる力を身につけます。毎回前半は中国の最新話題について聞き取りと会話の練習を行います。後半は、教材に『漢語口語速成』提高篇を用いて学習します。会話の基礎力・即応力をしっかりつけたい方にお勧めのクラス。

※講師：高立新(北京出身。北京外国語師範学院英文学部卒。北京商業大学英文教師を経て来日。日本における中国語講師歴18年。)

◇会場：梅窓院地下1階講堂(住所：港区青山2丁目26-38)

最寄り駅：東京メトロ銀座線「外苑前」駅下車1b出口ですぐ

◇受講料：入会金2,000円(新規入会者のみ)、受講料1回あたり1,500円(回数分纏めて一括徴収)

初級・中級60,000円(40回) 都度参加の場合は1回2,000円。

各クラスともテキスト代別途かかります。

受講をご希望の方は、ご住所、お名前、電話番号、年齢、受講クラスを明記のうえ、to-nicchu@jcfa-tyo.net までお申込みください。

恒例！スポーツ交流会 in 滝野川体育館

☆日 時：2017年4月23日(日) 9時半開場 10時スタート(室内用のシューズを持参ください)

☆会 場：滝野川体育館(バレーボール・バドミントン・ピンポン・対局柔力球)

JR京浜東北線上中里駅徒歩5分/地下鉄東京メトロ南北線西ヶ原駅(1番出口)徒歩5分

☆参加費：社会人1000円・学生以下500円(保険代・弁当代)

☆問合せ等：認定NPO法人東京都日中友好協会

TEL03-3295-8241 FAX03-3295-8255 E-mail: to-nicchu@jcfa-tyo.net

中国帰国者 新春餃子パーティー 帰国者中心に100名余が参加、歌と踊りも楽しむ



中国帰国者 新春餃子パーティー

1月22日午後1時から池袋の豊島区生活産業プラザにおいて、中国帰国者を対象とした東京都日中友好協会主催の「新春餃子パーティー」が催され100名余という多くの方々に参加した。

冒頭、須藤誠理事長より「中国の春節には1週間早い、今日は大い

に餃子を食べ、歌や踊りで楽しもう」と開会の挨拶があり、続いて帰国者を代表して菅原さんも中国語で挨拶し、今回のパーティー開催にあたっての感謝が述べられた。

司会は楊海倫さんが日本語と中国語を駆使しながらおこなった。料理は渡辺さんら帰国者の皆さんや、日本側の荒井さん・橋本さん・杉山さん等が中心となり、餃子をはじめ7品を用意するなどして、参加者も美味しい料理に舌鼓した。

宴は尾崎常務副会長による「新年好!」という乾杯の音頭で一気に盛り上がり、また、アトラクションは、大海の会、横浜養父母謝恩会、大田区帰国者夕陽紅、港区帰国者の会、昭島帰国者の会など帰国者の皆さんの日頃の練習の成果を発揮するなどして大変な盛り上がりとなった。更に、歌と楽器の演奏や、チャイナドレスと華麗な民族衣装等をまとった熱演が披露された。

そして、その後もお楽しみ抽選会等を行うなどするなか、本日の楽しい会もあっという間に過ぎ去った。最後に、文化交流委員会・斎藤委員長の「今年は日中国交回復45周年、今日のイベントを通じて帰国者の皆さんと一緒に楽しむことが出来ました。今後も、このような活動等を通じ大いに交流を図ろう」という言葉で本日の会を締めることとなった。

女性部会 新春のつどい



女性部会 新春のつどい

2月4日(土)、女性部会主催の「新春のつどい」を新橋の新橋亭で開催した。当日は、日本と中国で友好交流の活動に取り組む各分野の方々46人が参加された。例年ご出席いただいた汪婉大使夫人は急遽他の行事と重なり、代理で中国大使館広報部の王艶一等書記官、友好交流部の張玉霞二等書記官の御二人が出席された。さらに日中友好会館の留学生事業部長の夏瑛さんが出席され、留学生の多彩な活動について話をされた。

古島琴子さんの開会の挨拶に続き、来賓を代表して王艶さんが挨拶をされ、「本年は日中国交正常化45周年の記念すべき年です。力を合わせてより一層、友好交流を推進していきましょう。」と呼びかけられた。都日中友好協会会長夫人の宇都宮好美さんの乾杯の音頭に続き歓談に移った。各テーブルを囲み会話が賑やかに弾んだ。例年と同様に、参加者から提供された品々が並べられたミニバザーも大勢の方々にお買い上げ頂き、女性部会の活動資金とすることができた。

会の中盤、当日参加された京劇役者の田偉さんに京劇の一場面を唱っていただいた。その響き渡る美声を皆感心して聞き入っていた。さらに昨年素晴らしい二胡の演奏をして下さった本多ゆとりさんの再登場に皆さん大喜びだった。中学1年生になり、昨年、中国で行われた国際大会コンクール敦煌杯で銀賞を受賞したその実力は確かなものであった。二胡で演奏された「故郷」のしらべにあわせ、参加された方々は一緒に口ずさみ楽しい時間を過ごした。

毎年開催しているこの「新春のつどい」に日本で生活し活躍している中国の女性の方々も多く参加され、日本の女性たちと交流の輪を拡げている。日中国交正常化45周年の本年は、さらに日中友好の発展と女性の活躍を願い、来年の再会を約して会を閉じた。(奥)

豊島区日中友好協会 春節を祝う会

春節翌日の1月29日(日)、午後1時30分から豊島区立生活産業プラザにて「春節を祝う会」が催され、200名を超す方々が参加した。

主催者の尾崎隆信豊島区日中会長、里中郁男日中議員連盟会長、天沼友一祝う会実行委員長の挨拶の後、宇都宮徳一郎東京都日中会長、高野之夫豊島区長、からそれぞれ心のこもったご祝辞をいただいた。続いて森弘治豊島区観光協会副会長による乾杯の発声で賑やかに祝う会は始まった。

今年は朝から女性部による手作り水餃子1000個も他の料理と共にテーブルいっぱいになり、来場者も本場さながらの味に舌鼓を打っていた。

舞台上では四川変面、マジックショー、子供によるダンス、歌などが催され驚きと歓声で、会場は益々熱気に包まれ盛り上がっていた。

お腹も一杯になったところで、恒例のお年玉プレゼント抽選会。今年は高価な景品も多く、方々が歓声とため息が漏れていました。午後3時30分、富澤弘治副会長の挨拶で次回の再会を約して閉会となった。



豊島区日中 春節を祝う会

北区日中友好協会 春節餃子パーティー



北区日中 春節餃子パーティー

去る1月29日、北区日中友好協会では恒例の春節餃子パーティーを王子小学校ランチルームで開催し、日中合わせて180人が参加した。

朝8時半から餃子の皮と具の仕込み作業が家庭科室で始まり、10時半過ぎにはランチルームで餃子の皮包みを中国人が日本人に手ほどきしながらの交流となった。12時からのパーティーで北区日中の花川與惣太会長(北区長)が新年の挨拶を述べ、来賓の東京都日中・宇都宮徳一郎会長と区議会の山田加奈子議長からは祝辞が述べられた。

友好議員連盟の戸枝大幸会長が乾杯の発声をおこない、賑やかにパーティーが始まった。テーブルには熱々の水餃子の他、お寿司、焼きそば、唐揚げの他、中国の参加者には懐かしい油条(揚げパン)が並べられ、まるで故郷にいるようだとの中国人の参加者は喜んでた。途中で東京中国歌舞団の音楽教室に通う生徒さん達による二胡と横笛の演奏の他、東大に通う留學生が縦笛、横笛の演奏を披露した。

パーティーの後半にビンゴゲームが始まり、景品には腕時計、暖房機などの豪華な景品が並べられた他、抽選を併用し、旅行カバンや1万円の商品券等もあり、参加者は司会者が読み上げる数字に一喜一憂し、上がりの人が出る度に大きな歓声が上がった。また、残った旅行カバン争奪の参加者全員によるジャンケン大会も行われ、会場は大いに盛り上がり、景品は全員に行き渡った。終始笑顔の絶えない和やかなパーティーも名残を惜しみつつ、皆川誠一副会長の挨拶で閉会した。

渋谷区日中友好協会 春節のつどい

2月11日渋谷区日中友好協会主催の春節のつどいを渋谷区公園通り東武ホテルで行った。渋谷区内外から120名の日中友好を願う関係者が集まった。

冒頭、渋谷区日中友好協会松岡定俊会長から「多くの皆さんに参加いただきありがとうございます」と言うお礼の挨拶があった。来賓として渋谷区長谷部健区長から「昨年8月渋谷区内の中学生を引率して北京市西城区でホームステイを行い中学生同士の交流を行った。人との交流こそ大切である」と挨拶。中国大使館汪婉大使夫人より「日本の一部に『中国を敵視する言動がある』が多く国民は友好的であり、これこそ隣国としてあるべき姿である」という挨拶があった。その後、都日中宇都宮会長の挨拶、参加された渋谷区議会の諸先生の紹介があった。

渋谷区と中国のパイプ役として長い間活躍された北京市人民対外友好協会理事の劉樹声先生から「渋谷区広尾小学校合唱団が北京市天安門の上で中国の小学生と合唱を行った。こう言うことは二度とないだろう。このことが私の良い思い出である」という挨拶があった。北京市西城区からのメッセージを渋谷区日中鈴木静香理事から披露があり、盛大な拍手



渋谷区日中 春節のつどい

で確認された。その後飲食交流と様々な出し物があり盛り上がった春節のつどいであった。

目黒区日中友好協会 春節のつどい



目黒区日中 春節のつどい

2月17日(金)午後6時から、区役所総合庁舎2階大会議室において目黒区日中友好協会主催による「日中友好春節のつどい」が開催。

つどいには、目黒区日中友好協会・日中友好協会目黒区職員の会・日中友好目黒区議員連盟・中国大使館等から80名以上、参加された。

主催者を代表して、二ノ宮目黒区日中友好協会会長が挨拶され北京市東城区との友好関係から、日中国交回復45周年を記念して、区内中

学生によるスポーツ交流(バスケット・卓球)派遣を計画準備していると述べられた。

来賓代表として青木目黒区長・汪婉中国大使館友好交流部参事官(大使夫人)がそれぞれ挨拶された。汪婉参事官は冒頭、昨年中の中国から日本への観光客が630万人を超え、日本各地で歓迎を受け交流が深まったことは素晴らしいことと述べられた。そして国際情勢が変化する中、友好都市の行政・議会・民間の三者が協力して日中友好交流を推進することが非常に大切であるとも述べられ、目黒区・友好議員連・友好協会の活動を高く評価された。

来賓あいさつに次いで、中学2年生の本田ゆとり君が二胡の演奏を披露した。シルクロード・夜来香など5曲の演奏はすばらしく満場の喝采をあげた。

田島目黒区議会議長(日中友好目黒区議連会長)の乾杯のあと、来賓の紹介そして毎年招待されている地元目黒の新華社通信等中国メディア支局のみなさんの紹介があり、なごやかな交流が続いた。なお、当協会からは須藤理事長が出席し、お祝いの挨拶を述べた。(須藤)